

りそなグループの概要

本邦最大の信託併営リテール金融サービスグループとして、お客さまに最適なソリューションをお届けします。

りそなグループは、2018年4月、連結子会社である関西みらいフィナンシャルグループのもと、関西アーバン銀行、近畿大阪銀行およびみなと銀行の経営統合を完了し、新たな一歩を踏み出しました。国内最大規模の店舗ネットワークやフルラインの信託・不動産機能を活用し、より多くのお客さまに最適なソリューションを提供していきます。

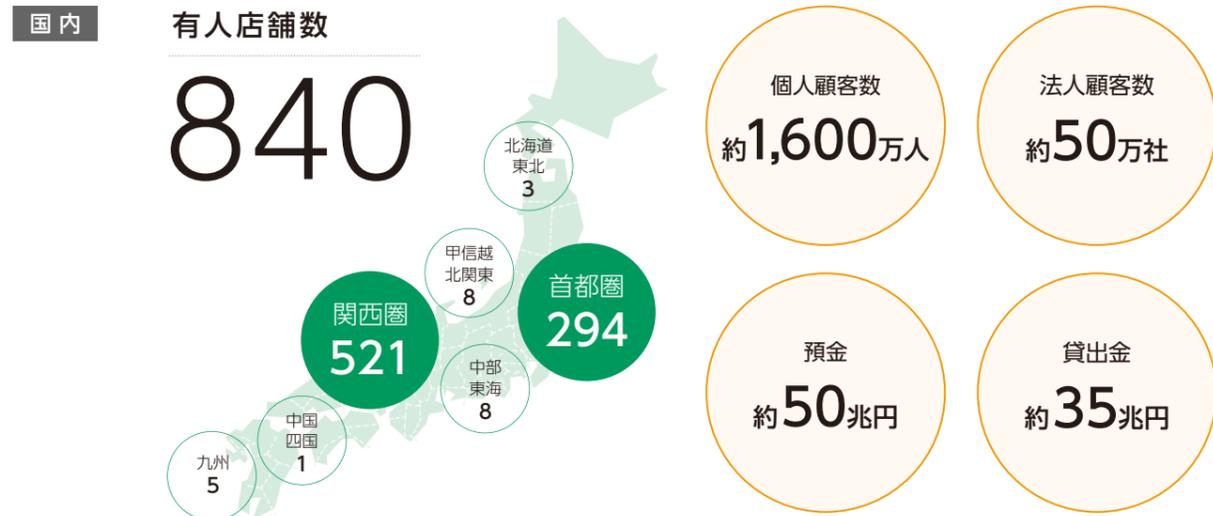
りそなの概要

2018年4月1日現在（総資産、信託財産は2018年3月31日現在）



りそなのネットワーク

2018年4月1日現在



海外 下記海外拠点と提携銀行によりアジア全域・米国までカバー

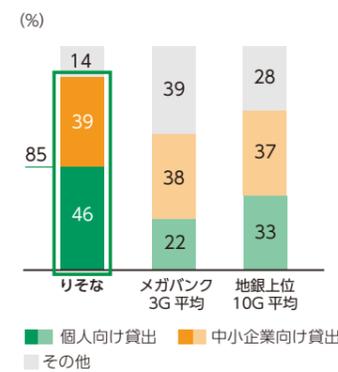
- ▶ 海外駐在員事務所 上海、香港、バンコック、ホーチミン
- ▶ リそなマーチャントバンクアジア
- ▶ リそなブルガリア銀行（現地合併銀行） 本店：1、支店：2、出張所：5
- ▶ リそな・インドネシア・ファイナンス

りそなのポジション (りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行に関西アーバン銀行、みなと銀行を加えた5行ベース)

貸出金ポートフォリオ^{*1}

2018年3月末

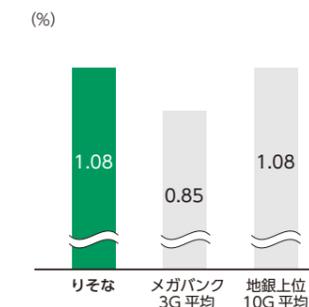
りそなグループの貸出金は、約85%が個人と中小企業のお客さま向けで占められ、リテール業務に軸足を置いた貸出金構成となっています。



預貸金利回り差の比較^{*1}

2018年3月期

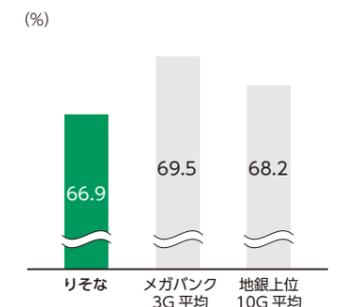
一般的に貸出利回りが低い大企業取引が少ないため、相対的に高い預貸金利回り差を確保する一方、貸出金が小口に分散されていることで、適切な信用リスクコントロールが可能となっています。



連結経費率の比較^{*1,2}

2018年3月期

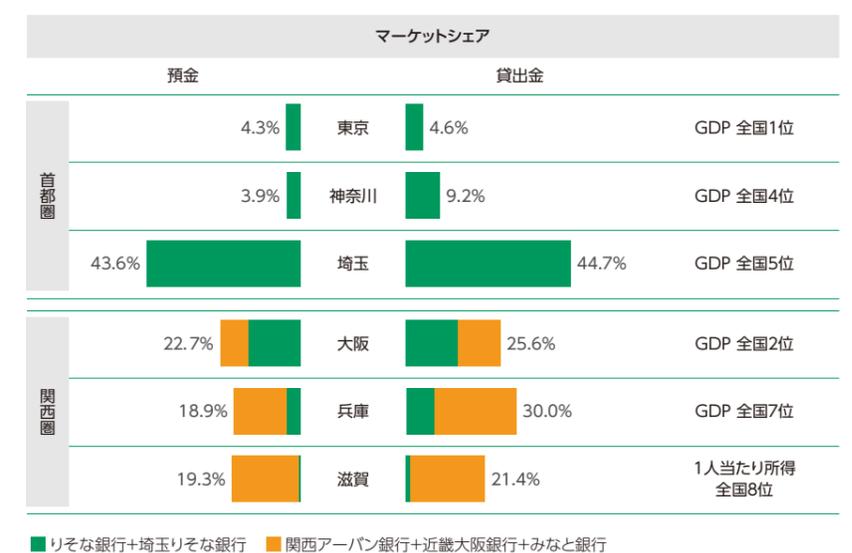
リテール業務に特化した銀行でありながら、メガバンクグループや上位地銀と比較しても優位性のある経費率の水準を実現しています。



預金・貸出金のマーケットシェア^{*3}

2018年3月末

りそなグループは、経済活動や人口が集積する首都圏および関西圏において、強固な営業基盤を確立しています。特に埼玉県における預金・貸出金のマーケットシェアは40%を超えるほか、関西みらいフィナンシャルグループが加わり、大阪府、兵庫県、滋賀県でのプレゼンスが向上しました。



^{*1} 出所：各社決算資料、りそな：グループ銀行合算（りそな銀行+埼玉りそな銀行+関西アーバン銀行+近畿大阪銀行+みなと銀行）、メガバンク3G：三菱UFJ銀行+三菱UFJ信託銀行、みずほ銀行+みずほ信託銀行、三井住友銀行、地銀上位10G：連結総資産上位10地銀グループ（ふくおかFG、コンコルディアFG、めがきFG、千葉銀行、ほくほくFG、静岡銀行、山口FG、九州FG、西日本FH、北洋銀行）
^{*2} 連結経費率=営業経費÷業務粗利益、りそな：りそなHD連結+関西アーバン銀行連結+みなと銀行連結
^{*3} グループ銀行合算、日本銀行都道府県別預金・貸出金（国内銀行）に占める割合